人事管理
——人と企業，ともに活きるために

平野光俊 = 江夏幾多郎

2018 年 6 月発売／306 頁／本体 2100 円＋税
A5 判／並製

学習　学部　一般

詳細を見る

編集担当者から

社会人の大半が被雇用者として働く現代において，人事管理に関する知識は誰にとっても有益なものといえるでしょう。働き方改革や同一労働同一賃金などが盛んに議論されている現在にあっては尚更です。こうした労働政策の前提には，日本企業がこれまでに実践してきた人事管理の蓄積があります。かつての経営戦略・企業組織と整合的だったこれらの雇用慣行は今，上述のような政策的対応を必要とするほど，岐路に立たされています。画一的な人材観に基づいた相互依存的な企業・従業員関係から，多様な人材を包摂できる自立的かつ対等な雇用関係へ——環境変化に伴って大きく変わろうとしている現実を前に，人事管理の編成原理を学び，従前の人事システムの整合性を理解することで，時代に相応しい新たな将来像を展望します。自らのキャリアを考えるのみならず，労働を通じて今後の社会のあり方を構想する一助ともなる，未来志向のテキストです。（T）

Index

第 1 部で基礎的な考え方を，第 2 部で一連の活動を，第 3 部で現代的な変容を扱います。

序　章　人事管理とは
第 1 部　人事管理の原理
第 1 章　組織をつくる
第 2 章　働くということ
第 3 章　システムとしての人事管理
第 2 部　人事管理のバリューチェーン
第 4 章　社員格付け制度：雇用関係を支える仕組み
第 5 章　採用と退出：雇用関係を交わす
第 6 章　配置：仕事を割り振る
第 7 章　評価と報酬：報いる
第 8 章　人材育成：「育つ」と「育てる」の交差
第 9 章　労使関係：従業員尊重のための人事管理
第 3 部　人事管理の現場
第 10 章　非正社員の基幹化
第 11 章　女性の活躍推進
第 12 章　ワーク・ライフ・バランスと働き方改革
第 13 章　高齢者雇用
第 14 章　グローバル経営と国際的人事管理
終　章　人事管理の未来